

# 日本生理人類学会 第 69 回大会プログラム

2013 年 10 月 26 日（土）－ 27 日（日）

同志社大学京田辺キャンパス



日本生理人類学会  
Japan Society of Physiological Anthropology

## ご挨拶

日本生理人類学会第 69 回大会  
大会長 福岡義之

日本生理人類学会の会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、第 69 回大会を開催させていただき運びとなりました。

京都での開催は、1987 年に奈良女子大学名誉教授（故）登倉尋實先生が開催され、今回が 2 回目の開催となります。古都京都での 2 回目となる本大会を担当させていただくことは、大変光栄であると同時に重責に身の縮む思いであります。今回は 8 月 8 日から 10 日にカナダ・バンフで開催された第 11 回国際生理人類学会議の直後であるにもかかわらず、60 題を越える一般演題の申し込みを頂きました。

本大会では特別講演と 2 つのシンポジウムを企画いたしました。けいはんな研究学研都市の地の利をいかした企画としまして、まず奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科柴田 智広 先生に「適応的なロボットによるヒトの運動学習や生活機能の支援」と題して、ヒトの運動学習を適応的に支援するロボットと、着衣介助を代表とする介助を適応的に行うロボットの話をご講演いただきます。シンポジウム 1 では「ヒトの随意運動制御メカニズムの解明」（座長 青木 朋子 先生 熊本県立大学）として、歩行・走行、両手や多指の協調動作といった日常動作やスポーツ、楽器演奏等のスキルを要する動作まで、ヒトにおいて実施される様々な随意運動の制御メカニズムに関する知見を解説頂き、そこから、ヒトにとって快適な動作やヒューマンエラー等の応用についてご討論頂きます。シンポジウム 2 では「神経・筋の可塑性とリハビリテーション・スポーツ」（座長 中澤 公孝 先生 東京大学）として、運動習慣や運動課題の違いでみられる神経系の適応変化や筋肥大を引き起こすメカニズムなどに関する最新の研究成果を説明いただき、スポーツやリハビリテーションにおける神経・筋の可塑的变化の関わりについてご討論頂きます。脳神経科学と生理人類学の有機的な融合を探求することを本大会の大きなテーマと位置づけました。フロアからの活発な討論もお願いいたします。

古都京都、収穫の秋にふさわしい実り多い時間を過ごしていただけるようスタッフ一同努力いたしております。本大会の開催に関してご協力とご支援を賜りました全ての皆様に感謝申し上げます、開催の挨拶とさせていただきます。

### 協賛企業（五十音順）

有限会社アルコシステム	インタークロス株式会社
株式会社 ATR-Promotions	有限会社エスアンドエムイー
カーディオメディックス株式会社	花王株式会社
株式会社三笑堂	有限会社スキノス技研
ゼロシーセブン株式会社	株式会社デジタルメディック
株式会社トライテック	日機装サーモ株式会社
ニホンサンテック株式会社	株式会社日立製作所
株式会社フォーアシスト	富士医科産業株式会社
株式会社ベルテック・ジャパン	株式会社増田医科器械
株式会社ミユキ技研	有限会社メディカルトライシステム
株式会社メディリンク	

### 大会実行委員（五十音順）

海老根直之（同志社大学）	上林清孝（同志社大学）
稗田睦子（同志社大学）	若原卓（同志社大学）

歴代大会長および開催地

回数	会期	開催地	大会長	備考
第1回	1979年 2月	東京都	一彦 樽男 正行 郎	生理人類学懇話会
第2回	1979年 5月	東京都	敬方 武	
第3回	1979年 10月	東京都	田藤 弓村 池山	
第4回	1980年 5月	東京都	真太 敬一 博	
第5回	1980年 11月	東京都	安太 敬一 博	
第6回	1981年 6月	東京都	敬一 博	
第7回	1981年 9月	東京都	敬一 博	
第8回	1982年 6月	東京都	敬一 博	
第9回	1982年 10月	東京都	敬一 博	
第10回	1983年 6月	東京都	敬一 博	生理人類学研究会
第11回	1983年 9月	東京都	敬一 博	
第12回	1984年 5月	東京都	敬一 博	
第13回	1984年 11月	東京都	敬一 博	
第14回	1985年 5月	東京都	敬一 博	
第15回	1985年 11月	東京都	敬一 博	
第16回	1986年 5月	東京都	敬一 博	
第17回	1986年 11月	東京都	敬一 博	
第18回	1987年 5月	東京都	敬一 博	
第19回	1987年 10月	東京都	敬一 博	
第20回	1988年 5月	東京都	敬一 博	生理人類学会
第21回	1988年 11月	東京都	敬一 博	
第22回	1989年 5月	東京都	敬一 博	
第23回	1989年 10月	東京都	敬一 博	
第24回	1990年 6月	東京都	敬一 博	
第25回	1990年 9月	東京都	敬一 博	
第26回	1991年 6月	東京都	敬一 博	
第27回	1991年 10月	東京都	敬一 博	
第28回	1992年 6月	東京都	敬一 博	
第29回	1992年 11月	東京都	敬一 博	
第30回	1993年 6月	東京都	敬一 博	
第31回	1993年 11月	東京都	敬一 博	
第32回	1994年 6月	東京都	敬一 博	日本生理人類学会
第33回	1994年 11月	東京都	敬一 博	
第34回	1995年 6月	東京都	敬一 博	
第35回	1995年 11月	東京都	敬一 博	
第36回	1996年 6月	東京都	敬一 博	
第37回	1997年 5月	東京都	敬一 博	
第38回	1997年 9月	東京都	敬一 博	
第39回	1998年 6月	東京都	敬一 博	
第40回	1998年 11月	東京都	敬一 博	
第41回	1999年 6月	東京都	敬一 博	
第42回	1999年 10月	東京都	敬一 博	
第43回	2000年 6月	東京都	敬一 博	
第44回	2000年 11月	東京都	敬一 博	
第45回	2001年 5月	東京都	敬一 博	
第46回	2001年 10月	東京都	敬一 博	
第47回	2002年 5月	東京都	敬一 博	
第48回	2002年 11月	東京都	敬一 博	
第49回	2003年 5月	東京都	敬一 博	
第50回	2003年 10月	東京都	敬一 博	
第51回	2004年 6月	東京都	敬一 博	
第52回	2004年 10月	東京都	敬一 博	
第53回	2005年 6月	東京都	敬一 博	
第54回	2005年 10月	東京都	敬一 博	
第55回	2006年 6月	東京都	敬一 博	
第56回	2007年 6月	東京都	敬一 博	
第57回	2007年 10月	東京都	敬一 博	
第58回	2008年 6月	東京都	敬一 博	
第59回	2008年 10月	東京都	敬一 博	
第60回	2009年 9月	東京都	敬一 博	
第61回	2009年 9月	東京都	敬一 博	
第62回	2010年 5月	東京都	敬一 博	
第63回	2010年 10月	東京都	敬一 博	
第64回	2011年 6月	東京都	敬一 博	
第65回	2011年 11月	東京都	敬一 博	
第66回	2012年 5月	東京都	敬一 博	
第67回	2012年 10月	東京都	敬一 博	
第68回	2013年 6月	東京都	敬一 博	

## 【お知らせ】

**会場：**同志社大学京田辺キャンパス  
〒610-0394 京田辺市多々羅都谷 1-3

**会期：**2013年10月26日（土）、27日（日）

**集会名：**日本生理人類学会 第69回大会

**主催：**日本生理人類学会（大会長：福岡義之、事務局長：海老根直之）

**共催：**同志社大学スポーツ健康科学会

### 大会参加費：

9月27日（金）まで

正会員 7000 円、非会員 9000 円、学生（正会員/学生会員） 3000 円、学生（非会員） 4000 円

9月28日（土）以後

正会員 8000 円、非会員 10000 円、学生（正会員/学生会員） 4000 円、学生（非会員） 5000 円

### 懇親会費：

正会員 3000 円、非会員 4000 円、学生（正会員/学生会員/非会員） 1000 円

（懇親会にて、第68回大会（藤原 勝夫 大会長）における発表奨励賞の授賞式を行います）

### 一般口演の発表要領：

- ・発表 8 分、質疑応答 3 分です。7 分で 1 鈴、8 分で 2 鈴、11 分で 3 鈴を鳴らします。発表は時間厳守にてお願いします。
- ・Windows 7、PowerPoint 2010 により液晶プロジェクターで発表していただきます。発表用ファイルを USB メモリに入れて発表会場にお持ち下さい。発表者は発表されるセッションの開始 15 分前までに PC 受付にてコピーを済ませ、内容を確認して下さい。（26 日、27 日も 8 時 30 分から手続可能です）。

### ポスターの発表要領：

- ・発表 3 分、質疑応答 2 分です。2 分で 1 鈴、3 分で 2 鈴、5 分で 3 鈴を鳴らします。
- ・演者はポスターの前で必ず待機願います（1 日目 16:55-17:55、2 日目 15:10-16:10）。
- ・ポスターは、A0 判の大きさ（横 84.1×縦 118.9cm）に収まるように掲示してください。
- ・演者は発表日の午前中にポスターを掲示してください。
- ・ポスターの回収はポスターセッション終了後に各自でお願いします。
- ・大会 1 日目、2 日目ともにセッションを 3 つのグループに分け、同時に発表を進めていきますので、ご注意ください。

### 大会 1 日目 (ポスターセッション 1 : 16:55~17:55)

	16:55-17:00	17:00-17:05	17:05-17:10	17:10-17:15	17:15-17:20	17:20-17:25	17:25-17:30
グループ 1	P1-1	P1-2	P1-3	P1-4	P1-5	P1-6	P1-7
グループ 2	P1-8	P1-9	P1-10	P1-11	P1-12	P1-13	
グループ 3	P1-14	P1-15	P1-16	P1-17	P1-18		

### 大会 2 日目 (ポスターセッション 2 : 15:10~16:10)

	15:10-15:15	15:15-15:20	15:20-15:25	15:25-15:30	15:30-15:35	15:35-15:40
グループ 1	P2-1	P2-2	P2-3	P2-4	P2-5	P2-6
グループ 2	P2-7	P2-8	P2-9	P2-10	P2-11	P2-12
グループ 3	P2-13	P2-14	P2-15	P2-16	P2-17	

グループ発表終了後の残り時間は自由討論となります。

#### 発表抄録の著作権 :

本大会要旨集に掲載された抄録の著作権は、発表者に帰属します。

## 【大会日程】

大会前日		10月25日(金)				
	恵道館 2階ロビー	恵道館 KD201	恵道館 KD204	恵道館 KD202	恵道館 KD301	ラウンジ棟 201
15:00-18:00					ジョイントセミナー 【日本生理人類学会 若手の会・ 同志社大学スポーツ 健康科学会】	理事会
18:00-19:00						国際シンポジウム 企画会議

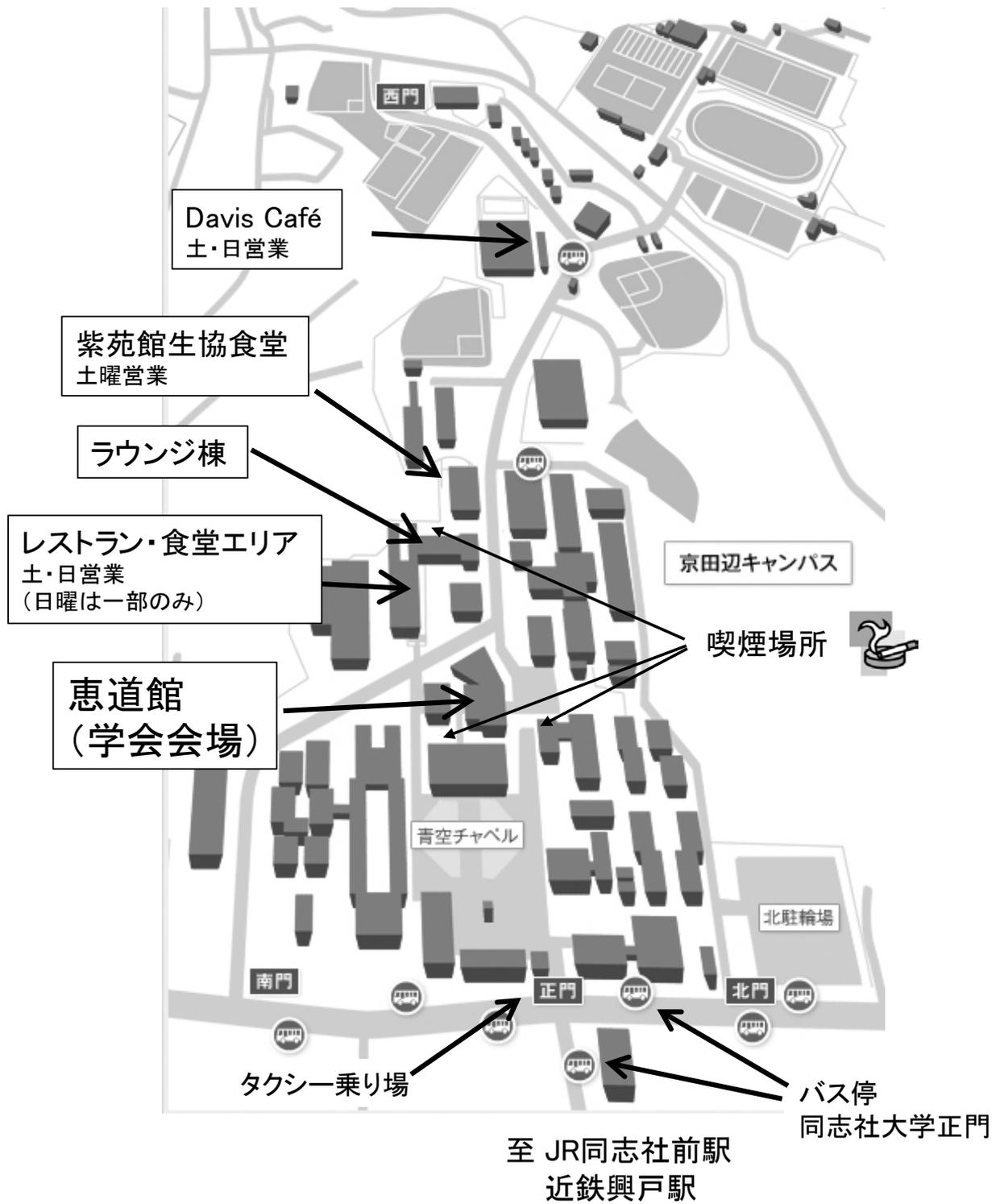
大会1日目		10月26日(土)				
	恵道館 2階ロビー	恵道館 KD201	恵道館 KD204	恵道館 KD202	恵道館 KD203	
8:30-						
9:25-9:30		開会				
9:30-10:20		一般口演セッション1 O1-1~4				
10:20-11:10		一般口演セッション2 O1-5~8				
11:20-12:20		特別講演				
12:20-13:30	受付	昼休み	1日目 ポスター掲示	機器展示	評議員会	
13:30-15:30		シンポジウム1				
15:45-16:45		一般口演セッション3 O1-9~13				
16:55-17:55			ポスターセッション1 P1-1~18			
18:15-20:15					懇親会	

奈良交通バス(新田辺駅 行)  
同志社大学正門 バス停  
20:33、21:03、21:31

大会2日目		10月27日(日)				
	恵道館 2階ロビー	恵道館 KD201	恵道館 KD204	恵道館 KD202	ラウンジ棟 202	ラウンジ棟 207
8:30-						
9:15-10:05		一般口演セッション4 O2-1~4				
10:05-10:55		一般口演セッション5 O2-5~8				
11:05-11:45		総会				
11:45-13:00	受付	昼休み	2日目 ポスター掲示	機器展示	資格認定会議	研究部会 代表者会議
13:00-15:00		シンポジウム2				
15:10-16:10			ポスターセッション2 P2-1~17			
16:20-17:20		一般口演セッション6 O2-9~13				
17:20		閉会				

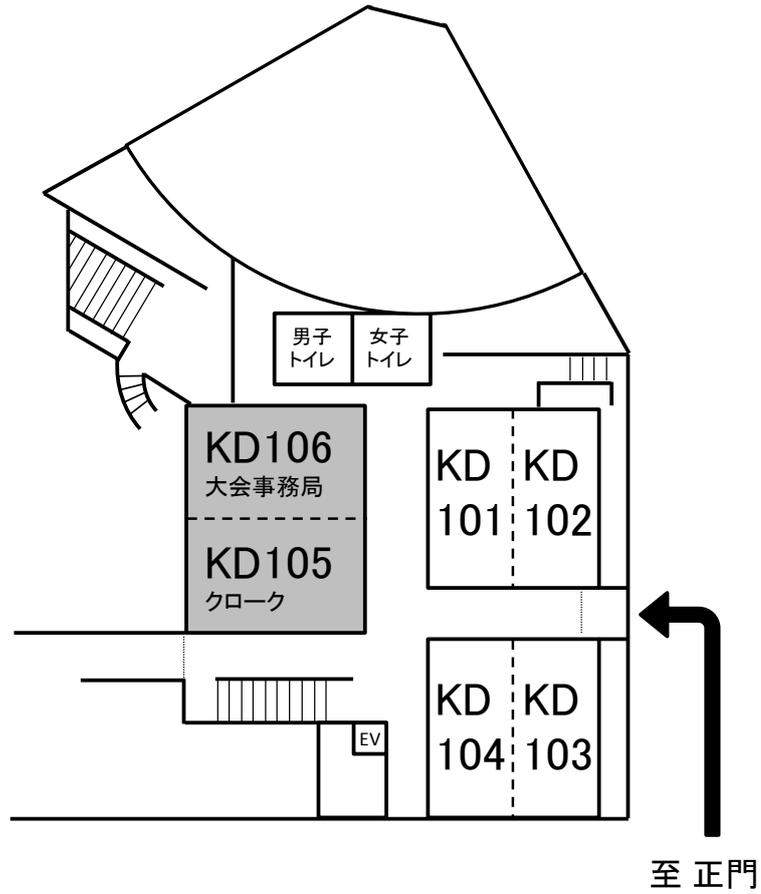
関連会議	日	時間	会場
1) 理事会	10月25日(金)	15:00~18:00	ラウンジ棟 201
2) ジョイントセミナー (日本生理人類学会若手の会・同志社大学スポーツ健康科学会)	10月25日(金)	15:00~18:00	恵道館 KD301
3) 国際シンポジウム企画会議	10月25日(金)	18:00~19:00	ラウンジ棟 201
4) 評議員会	10月26日(土)	12:20~13:30	恵道館 KD203
5) 総会	10月27日(日)	11:05~11:45	恵道館 KD201
6) 資格認定会議	10月27日(日)	11:45~13:00	ラウンジ棟 202
7) 研究部会代表者会議	10月27日(日)	11:45~13:00	ラウンジ棟 207

# 【会場案内図】

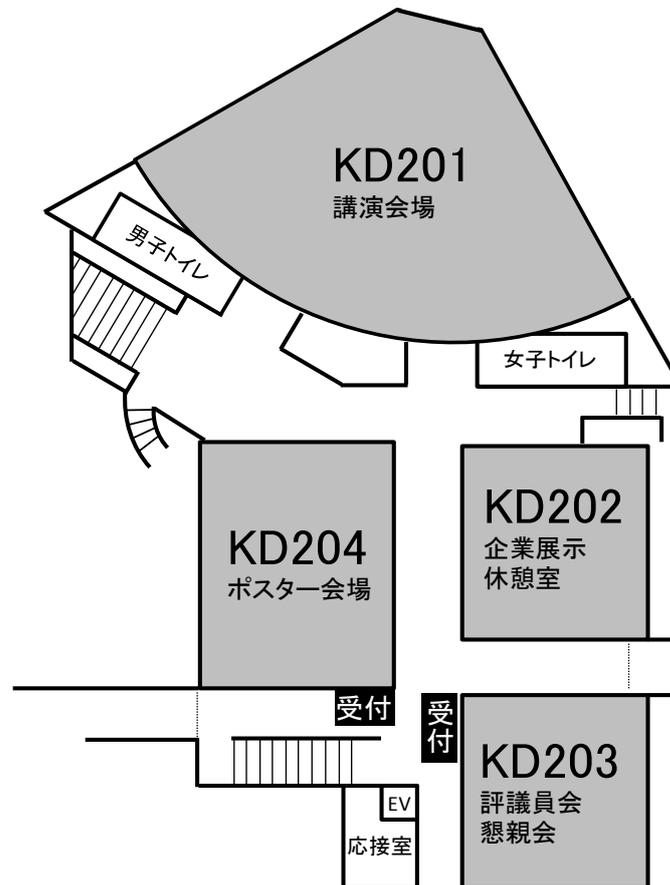


# 【恵道館（大会会場） 1・2階】

1階



2階



## 【プログラム】

大会 1 日目 10 月 26 日 (土)

開会 9:25

一般口演セッション 1

9:30~10:20

恵道館 KD201

座長 : 小谷賢太郎 (関西大学)

**O1-1** 鉄道車両の乗り物酔いに関する一研究

- 大野央人<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>鉄道総合技術研究所人間工学研究室

**O1-2** ステアリング模擬操作への微小振動付与の効果  
-第 3 報 片手によるグリップ回転デバイスでの検討-

- 向江秀之<sup>1</sup>, 安河内朗<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>(株)豊田中央研究所車両構造研究室  
<sup>2</sup>九州大学大学院芸術工学府

**O1-3** 自動二輪車運転時における眼球運動特性

- 水内淳<sup>1</sup>, 石井雅己<sup>1</sup>, 浦宏<sup>1</sup>, 山中仁寛<sup>1</sup>, 茅原崇徳<sup>1</sup>, 森島圭祐<sup>2</sup>, 大本浩司<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>首都大学東京システムデザイン研究科  
<sup>2</sup>ヤマハ発動機株式会社

**O1-4** 短時間の軽作業に適した筋電図解析手法の検討

- 豊泉深秋<sup>1</sup>, 池山和幸<sup>2</sup>, 下村義弘<sup>1</sup>, 勝浦哲夫<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻  
<sup>2</sup>(株)資生堂

一般口演セッション 2

10:20~11:10

恵道館 KD201

座長 : 樋口重和 (九州大学)

**O1-5** ヒト光受容体の発達と早産児の睡眠・身体発達を促す光環境の開発

- 太田英伸<sup>1</sup>, 渡辺真平<sup>2</sup>, 秋山志津子<sup>3</sup>, 埴田卓志<sup>3</sup>, 李コウ<sup>1</sup>, 中川真智子<sup>4</sup>, 兼次洋介<sup>5</sup>, 樋口重和<sup>6</sup>, Japan RED filter study group<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
<sup>2</sup>神奈川県立こども医療センター新生児科  
<sup>3</sup>東北大学病院周産母子センター  
<sup>4</sup>聖路加国際病院小児科  
<sup>5</sup>北海道大学病院周産母子センター  
<sup>6</sup>九州大学大学院芸術工学研究院  
<sup>7</sup>北海道大学病院, 東北大学病院, 宮城県立こども病院, 東北大学, 宇都宮大学, 東京医科歯科大学附属病院, 国立精神・神経医療研究センター, 神奈川県立こども医療センター, 名古屋大学附属病院, 京都大学附属病院, 国立循環器病研究センター, 大阪大学附属病院, アトムメディカル(株), (株)ルケオ

**O1-6** 就寝前記憶課題実施時の照明光が睡眠および記憶課題成績に与える影響

- 高倉潤也<sup>1</sup>, 荒田俊彦<sup>2</sup>, 久保川彩花<sup>2</sup>, 小崎智照<sup>3</sup>, 金子敏充<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>株式会社東芝研究開発センター  
<sup>2</sup>九州大学大学院芸術工学府  
<sup>3</sup>九州大学大学院芸術工学研究院

**O1-7** 一晩の部分断眠は午後の暑熱負担を増悪させる  
○ 時澤健, 田井鉄男, 呂健, 安田彰典, 岡龍雄, 高橋正也, 澤田晋一  
独立行政法人労働安全衛生総合研究所

**O1-8** 睡眠段階が呼吸と心拍のカップリングに及ぼす影響について  
○ 東風谷祐子<sup>1</sup>, 疋田あかり<sup>2</sup>, 大橋絵里子<sup>3</sup>, 市丸雄平<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京家政大学大学院家政学研究科博士課程人間生活学専攻  
<sup>2</sup>東京家政大学臨床栄養情報研究室  
<sup>3</sup>東京家政大学大学院家政学研究科修士課程健康栄養学専攻

**休憩** 11:10~11:20

**特別講演** 11:20~12:20 恵道館 KD201

座長 : 工藤奨 (九州大学)

「適応的なロボットによるヒトの運動学習や生活機能の支援」

柴田 智広 先生 (奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科)

**昼休み** 12:20~13:30

**シンポジウム 1** 13:30~15:30 恵道館 KD201

「ヒトの随意運動制御メカニズムの解明」

司会 : 青木朋子 (熊本県立大学)

シンポジスト

樋口貴広 (首都大学東京人間健康科学研究科)

「随意運動の知覚運動制御 : 移動行動の予期的制御」

藤井進也 (トロント大学サニーブルックヘルスサイエンスセンター/日本学術振興会海外特別研究員)

「音楽家の身体運動制御」

青木朋子 (熊本県立大学環境共生学部食健康科学科)

「個々の指の随意運動制御」

荒牧勇 (中京大学スポーツ科学部)

「両手同時操作の運動制御」

**休憩** 15:30~15:45

座長 : 井上芳光 (大阪国際大学)

**O1-9 圧迫負荷時の寒冷誘発血管拡張反応**

○ 岸野慎太郎<sup>1</sup>, 前田享史<sup>2</sup>, 竹中基裕<sup>1</sup>, 若山凌<sup>3</sup>

<sup>1</sup>北海道大学大学院工学院

<sup>2</sup>北海道大学大学院工学研究院

<sup>3</sup>北海道大学工学部環境社会工学科衛生環境工学コース

**O1-10 寒冷曝露時の熱産生反応の個人差とその影響要因について**

○ 鷹野翔一<sup>1</sup>, 前田享史<sup>2</sup>, 櫻井大樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学大学院工学院環境人間工学研究室

<sup>2</sup>北海道大学大学院工学研究院環境人間工学研究室

**O1-11 原発関連復旧作業時の暑熱負担軽減方策としての事前冷却手技の有用性(第二報):  
事前風冷手技の検討**

○ 澤田晋一<sup>1</sup>, 時澤健<sup>1</sup>, 安田彰典<sup>1</sup>, 岡龍雄<sup>1</sup>, 田井鉄男<sup>1</sup>, 井田浩文<sup>2</sup>,  
中山和美<sup>2</sup>, 三宅康史<sup>3</sup>, 神田潤<sup>3</sup>, 萩原祥弘<sup>3</sup>, 檜村洋次郎<sup>3</sup>

<sup>1</sup>(独)労働安全衛生総合研究所

<sup>2</sup>東京電力(株)

<sup>3</sup>昭和大学医学部救急医学講座

**O1-12 高齢者におけるスポーツ活動時の血栓形成関連因子の動態**

○ 石指宏通<sup>1</sup>, 井上芳光<sup>2</sup>

<sup>1</sup>奈良県立医科大学

<sup>2</sup>大阪国際大学

**O1-13 皮膚温度感受性の加齢的变化: 20~96歳を対象として**

○ 井上芳光<sup>1</sup>, 戸谷真理子<sup>1</sup>, 村田夏紀<sup>1</sup>, 一之瀬智子<sup>1</sup>, 上田博之<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪国際大学

<sup>2</sup>大阪信愛女学院短期大学

休憩 16:45~16:55

16:55~17:30 グループ 1

座長 : 小崎智照 (九州大学)

**P1-1 瞳孔対光反射の分光感度に見られた新規光受容器の影響**

○ 高橋良香, 勝浦哲夫, 岩永光一, 下村義弘

千葉大学大学院工学研究科

**P1-2 異なる色光による生理・心理反応の多様性**

○ 原田和樹<sup>1</sup>, 落合将太郎<sup>2</sup>, 張亦馳<sup>1</sup>, 李相逸<sup>1</sup>, 樋口重和<sup>3</sup>

<sup>1</sup>九州大学大学院統合新領域学府ユーザー感性学専攻

<sup>2</sup>九州大学芸術工学部工業設計学科

<sup>3</sup>九州大学大学院芸術工学研究院デザイン人間科学部門

- P1-3** 青色相を背景色にした VDT 陰画表示画面が生理反応と作業効率に及ぼす影響  
 ○ 片山徹也<sup>1</sup>, 庄山茂子<sup>2</sup>, 栢原裕<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>長崎ウエスレヤン大学  
<sup>2</sup>長崎県立大学大学院  
<sup>3</sup>放送大学, 九州大学大学院芸術工学研究院
- P1-4** 森林視覚刺激が生理および心理指標に及ぼす影響 - 同一森林内での比較検討 -  
 ○ 堀内雅弘<sup>1</sup>, 遠藤淳子<sup>1</sup>, 高山範理<sup>2</sup>, 村瀬一隆<sup>3</sup>, 西山教雄<sup>3</sup>, 齋藤暖生<sup>3</sup>, 藤原章雄<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>山梨県環境科学研究所環境生理学研究室  
<sup>2</sup>独立行政法人森林総合研究所環境計画学研究室  
<sup>3</sup>東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
- P1-5** 野生ルイボスの香り成分とストレス緩和効果  
 ○ 山口静枝<sup>1</sup>, 松本明日香<sup>1</sup>, 廣瀬良樹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪青山大学健康科学部  
<sup>2</sup>元大阪青山大学健康科学部
- P1-6** 安静時における心拍を基準としたテンポのリズム音聴取が心理・生理的反応に与える影響  
 ○ 宮城舜<sup>1</sup>, 鷺塚愛<sup>1</sup>, 足利さくら<sup>2</sup>, 田井村明博<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科博士前期課程環境保全設計学専攻  
<sup>2</sup>長崎大学環境科学部保全設計コース  
<sup>3</sup>長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科
- P1-7** 健康づくりのための身体活動基準 2013 に基づいた身体活動時の心拍および加速度の特性について  
 ○ 疋田あかり, 大橋絵里子, 東風谷祐子, 市丸雄平  
 東京家政大学臨床栄養情報研究室

## 16:55~17:25 グループ 2

座長 : 若村智子 (京都大学)

- P1-8** 発話音声と注意および覚醒水準の関連性に関する検討 (3)  
 ○ 立川公子<sup>1</sup>, 塩見格一<sup>2</sup>, 橋本修左<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>武蔵野大学  
<sup>2</sup>電子航法研究所
- P1-9** バイノーラルビートがヒトの覚醒度や反応時間に及ぼす影響  
 ○ 巖偉, 下村義弘, 勝浦哲夫  
 千葉大学工学研究科デザイン科学専攻人間生活工学研究室
- P1-10** メラノプシン遺伝子多型 (I394T) と睡眠習慣の関係  
 ○ 李相逸<sup>1</sup>, 肥田昌子<sup>2</sup>, 北村真吾<sup>2</sup>, 稲見香<sup>3</sup>, 三島和夫<sup>2</sup>, 樋口重和<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>九州大学大学院統合新領域学府  
<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
<sup>3</sup>福岡女子大学人間環境学部  
<sup>4</sup>九州大学大学院芸術工学研究院
- P1-11** 若年者の睡眠習慣と肥満リスクに関する基礎的研究  
 ○ 中崎恭子, 北村真吾, 元村祐貴, 肥田昌子, 三島和夫  
 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神生理研究部

- P1-12** 離島住民を対象とした TG-HDL 比で分類した糖尿病と血清  $\gamma$ -GTP 値との関係
- 小屋松淳<sup>1</sup>, 清水悠路<sup>2</sup>, 佐藤晋平<sup>2</sup>, 門田耕一郎<sup>2</sup>, 中里未央<sup>1</sup>, 玉井慎美<sup>3</sup>, 有馬和彦<sup>4</sup>, 山崎浩則<sup>5</sup>, 高村昇<sup>6</sup>, 青柳潔<sup>4</sup>, 前田隆浩<sup>1,2</sup>
  - <sup>1</sup>長崎大学大学院離島・へき地医療学講座
  - <sup>2</sup>長崎大学大学院地域医療学分野
  - <sup>3</sup>長崎大学大学院リウマチ免疫病態制御学
  - <sup>4</sup>長崎大学大学院公衆衛生学分野
  - <sup>5</sup>長崎大学保健・医療推進センター
  - <sup>6</sup>長崎大学大学院国際保健医療福祉学研究分野

- P1-13** 食事制限によるストレス耐性の増強 - アミノ酸の影響 -
- 河野比良夫<sup>1</sup>, 甲田勝康<sup>2</sup>, 中村晴信<sup>3</sup>, 菌田精昭<sup>1</sup>
  - <sup>1</sup>関西医科大学衛生学教室
  - <sup>2</sup>近畿大学医学部公衆衛生学教室
  - <sup>3</sup>神戸大学大学院人間発達環境学研究科

### 16:55~17:20 グループ 3

座長 : 西村貴孝 (長崎大学)

- P1-14** 閉所環境が主観評価と P300 へ与える影響
- 関谷崇寛<sup>1</sup>, 樺田正樹<sup>1</sup>, 松本吏子<sup>2</sup>, 江頭優佳<sup>2</sup>, 崔多美<sup>2</sup>, 本井碧<sup>2</sup>, 西村貴孝<sup>3</sup>, 綿貫茂喜<sup>4</sup>
  - <sup>1</sup>九州大学芸術工学部
  - <sup>2</sup>九州大学大学院統合新領域学府
  - <sup>3</sup>長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野
  - <sup>4</sup>九州大学大学院芸術工学研究院

- P1-15** 湿度環境の変化が P300 に及ぼす影響
- 堀夏子<sup>1</sup>, 江頭優佳<sup>2</sup>, 松本吏子<sup>2</sup>, 本井碧<sup>3</sup>, 崔多美<sup>2</sup>, 高倉潤也<sup>2</sup>, 西村貴孝<sup>4</sup>, 綿貫茂喜<sup>5</sup>
  - <sup>1</sup>九州大学芸術工学部
  - <sup>2</sup>九州大学大学院統合新領域学府
  - <sup>3</sup>九州大学大学院統合新領域学府, 日本学術振興会特別研究員 DC
  - <sup>4</sup>長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野
  - <sup>5</sup>九州大学大学院芸術工学研究院

- P1-16** 文字刺激に対する N400 の反応に感情プライミングが及ぼす影響
- 樺田正樹<sup>1</sup>, 江頭優佳<sup>2</sup>, 松本吏子<sup>2</sup>, 本井碧<sup>3</sup>, 崔多美<sup>2</sup>, 関谷崇寛<sup>1</sup>, 西村貴孝<sup>4</sup>, 綿貫茂喜<sup>5</sup>
  - <sup>1</sup>九州大学芸術工学部
  - <sup>2</sup>九州大学大学院統合新領域学府
  - <sup>3</sup>九州大学大学院統合新領域学府, 日本学術振興会特別研究員 DC
  - <sup>4</sup>長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野
  - <sup>5</sup>九州大学大学院芸術工学研究院

- P1-17** ターゲット刺激に対する注意反応 : ERP 研究
- 崔多美<sup>1</sup>, 綿貫茂喜<sup>2</sup>
  - <sup>1</sup>九州大学大学院統合新領域学府
  - <sup>2</sup>九州大学大学院芸術工学研究院

- P1-18** 祇園囃子太鼓方演奏時の視線行動
- 山田勝真<sup>1</sup>, 大桐将<sup>1</sup>, 古川貴士<sup>1</sup>, 成田智恵子<sup>1</sup>, 後藤彰彦<sup>2</sup>, 来田宣幸<sup>1</sup>
  - <sup>1</sup>京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科
  - <sup>2</sup>大阪産業大学デザイン工学部情報システム学科

## 大会 2 日目 10 月 27 日 (日)

一般口演セッション 4

9:15~10:05

恵道館 KD201

座長 : 仲村匡司 (京都大学)

- O2-1** 日帰り型森林セラピーがもたらす生理的影響 -8 実験地・96 名の結果から-  
○ 池井晴美<sup>1</sup>, 宋チョロン<sup>1</sup>, 恒次祐子<sup>2</sup>, 森川岳<sup>2</sup>, 香川隆英<sup>2</sup>, 宮崎良文<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学環境健康フィールド科学センター  
<sup>2</sup>(独) 森林総合研究所
- O2-2** 森林セラピー・社会人プログラムにおける主観的効果  
○ 小泉春佳<sup>1</sup>, 池井晴美<sup>1</sup>, 宋チョロン<sup>1</sup>, 高橋隆宜<sup>1</sup>, 上月光則<sup>2</sup>, 寺谷誠一郎<sup>2</sup>, 佐久間高広<sup>3</sup>, 宮崎良文<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学環境健康フィールド科学センター  
<sup>2</sup>鳥取県智頭町  
<sup>3</sup>株式会社 LASSIC
- O2-3** 衣服内気流に関する基礎的研究  
○ 山崎和彦<sup>1</sup>, 小笠原寧<sup>1</sup>, 三上祐里瑛<sup>1</sup>, 大久保千穂<sup>1</sup>, 前田亜紀子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>実践女子大学生生活科学部  
<sup>2</sup>群馬大学教育学部
- O2-4** 風雨の体温調節に及ぼす影響  
○ 前田亜紀子<sup>1</sup>, 荻原瞳<sup>2</sup>, 鳥山菜穂<sup>2</sup>, 大久保千穂<sup>2</sup>, 山崎和彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>群馬大学教育学部  
<sup>2</sup>実践女子大学生生活科学部

一般口演セッション 5

10:05~10:55

恵道館 KD201

座長 : 草野洋介 (国立病院機構長崎病院)

- O2-5** 離島住民を対象にした高尿酸血症と身長及び肥満度 (BMI) の関係  
○ 清水悠路<sup>1</sup>, 中里未央<sup>2</sup>, 関田孝晴<sup>2</sup>, 門田耕一郎<sup>1</sup>, 有馬和彦<sup>3</sup>, 山崎浩則<sup>3</sup>, 高村昇<sup>4</sup>, 青柳潔<sup>5</sup>, 前田隆浩<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学分野  
<sup>2</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科離島・へき地医療学講座  
<sup>3</sup>長崎大学保健・医療推進センター  
<sup>4</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科国際保健医療福祉学研究分野  
<sup>5</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野
- O2-6** 春季における都市公園歩行がもたらす生理的影響  
○ 宋チョロン, 池井晴美, 高橋隆宜, 五十嵐美穂, 三輪正幸, 高垣美智子, 宮崎良文  
千葉大学環境健康フィールド科学センター
- O2-7** 日常身体活動の質および量と健康評価関連因子との関わり  
○ 木村靖夫<sup>1</sup>, 大木和子<sup>2</sup>, 清水史子<sup>3</sup>, 久富守<sup>1</sup>, 中川直樹<sup>4</sup>, 池上寿伸<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>Fitness & Health Sciences 研究所  
<sup>2</sup>昭和女子大学生生活機構研究科  
<sup>3</sup>昭和女子大学生生活科学部  
<sup>4</sup>産業能率大学・情報マネジメント学部  
<sup>5</sup>佐賀大学文化教育学部

**O2-8 朝食でのミルク摂取や食事での柚子使用が幼児や大学生の概日タイプ及び精神衛生に及ぼす影響**

○ 原田哲夫<sup>1</sup>, 和田快<sup>1</sup>, 川崎貴世子<sup>1</sup>, ミラダ=クレイチ<sup>2,3</sup>, 野地照樹<sup>4</sup>, 中出美代<sup>5</sup>, 渡部嘉哉<sup>6</sup>, 溝渕俊二<sup>6</sup>, 竹内日登美<sup>1</sup>

<sup>1</sup>高知大学大学院総合人間自然科学研究科環境生理学教室

<sup>2</sup>パレストラ大学体育学部

<sup>3</sup>南ボヘミア大学教育学部

<sup>4</sup>高知大学大学院総合人間自然科学研究科保健体育教室

<sup>5</sup>東海学園大学健康栄養学部

<sup>6</sup>高知大学大学院総合人間自然科学研究科医科学系看護科学ユニット

**休憩** 10:55～11:05

**総会** 11:05～11:45

**昼休み** 11:45～13:00

**シンポジウム 2**

13:00～15:00

恵道館 KD201

「神経・筋の可塑性とリハビリテーション・スポーツ」

司会：中澤 公孝（東京大学）

シンポジスト

牛山潤一（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

「筋出力の精密制御能を規定する皮質-筋システムの同期的神経活動

- その個人差およびスポーツ競技歴による可塑的变化 -」

伊藤尚基（国立精神・神経医療研究センター神経研究所）

「骨格筋神経型一酸化窒素合成酵素により誘起される  $Ca^{2+}$ シグナルが筋肥大を促進する」

小川哲也（早稲田大学スポーツ科学学術院）

「運動特性を反映した中枢神経系の適応変化」

中澤公孝（東京大学大学院総合文化研究科）

「神経の可塑性と脊髄損傷のリハビリテーション」

**休憩** 15:00～15:10

**ポスターセッション 2**

15:10～16:10

恵道館 KD204

**15:10～15:40 グループ 1**

座長：石橋圭太（千葉大学）

**P2-1** 椅座位作業に対応した電子制御型下半身陽圧陰圧負荷装置の製作

○ 石橋圭太, 大高雅貴, 吉田尚央, 岩永光一

千葉大学大学院工学研究科

- P2-2** 正弦波下半身陰圧負荷が中大脳動脈血流速度に及ぼす影響  
○ 岩永光一, 大高雅貴, 吉田尚央, 石橋圭太  
千葉大学大学院工学研究科
- P2-3** 呼吸規則性定量化指標の時間変動特性  
○ 不破輝彦<sup>1</sup>, 隈井省吾<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>職業能力開発総合大学校能力開発院  
<sup>2</sup>職業能力開発総合大学校機械システム工学科
- P2-4** 仰臥位の一定中強度長時間運動における心拍ドリフトの要因  
○ 連長順<sup>1</sup>, 有光琢磨<sup>2</sup>, 山中亮<sup>2</sup>, アフルンデロガイエ<sup>1</sup>, 白川和希<sup>1</sup>, 柚木孝敬<sup>1</sup>, 矢野徳郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>北海道大学  
<sup>2</sup>国立スポーツ科学センター
- P2-5** 代謝量評価における安静維持課題の検討  
○ 石原達朗<sup>1</sup>, 宮本明奈<sup>1</sup>, 藤嶋将隆<sup>1</sup>, 山本満<sup>2</sup>, 中江悟司<sup>3</sup>, 海老根直之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>同志社大学スポーツ健康科学部  
<sup>2</sup>同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科  
<sup>3</sup>独立行政法人国立健康・栄養研究所
- P2-6** ニュータウン居住高齢者の身体活動量の違いが生活機能に及ぼす影響  
○ 高井逸史<sup>1</sup>, 杉山正晃<sup>2</sup>, 生田英輔<sup>2</sup>, 岡崎和伸<sup>3</sup>, 森一彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪物療大学保健医療学部  
<sup>2</sup>大阪市立大学大学院生活科学研究科  
<sup>3</sup>大阪市立大学都市・健康スポーツ研究センター

## 15:10~15:40 グループ2

座長 : 前田享史 (北海道大学)

- P2-7** 身体局所冷却の生理反応の個人差及びその影響要因について  
○ 奥山祐輝<sup>1</sup>, 高橋涼<sup>1</sup>, 山口秀明<sup>3</sup>, 前田享史<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>北海道大学大学院工学院環境人間工学研究室  
<sup>2</sup>北海道大学大学院工学研究院環境人間工学研究室  
<sup>3</sup>株式会社アイシン・コスモス研究所
- P2-8** 局所寒冷血管拡張反応からみた寒冷耐性と温度感覚の関連性の検討  
○ 足利さくら<sup>1</sup>, 本村麻衣子<sup>1</sup>, 鷲塚愛<sup>2</sup>, 宮城舜<sup>2</sup>, 田井村明博<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>長崎大学環境科学部環境保全設計コース  
<sup>2</sup>長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科
- P2-9** 寒冷曝露時における主観的温冷感と産熱反応の関係及びその季節変動  
○ 西村貴孝<sup>1</sup>, 本井碧<sup>2,3</sup>, 江頭優佳<sup>2</sup>, 崔多美<sup>2</sup>, 松本吏子<sup>2</sup>, 草野洋介<sup>4</sup>, 綿貫茂喜<sup>5</sup>, 青柳潔<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野  
<sup>2</sup>九州大学大学院統合新領域学府  
<sup>3</sup>日本学術振興会特別研究員 DC  
<sup>4</sup>国立病院機構長崎病院  
<sup>5</sup>九州大学大学院芸術工学研究院
- P2-10** 熱中症対策の冷却法の検討  
○ 田井鉄男<sup>1</sup>, 澤田晋一<sup>1</sup>, 岡龍雄<sup>1</sup>, 安田彰典<sup>1</sup>, 中山和美<sup>2</sup>, 井田浩文<sup>2</sup>, 下田朋彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>(独立行政法人)労働安全衛生総合研究所  
<sup>2</sup>東京電力株式会社技術開発研究所

- P2-11** 昼食のエネルギー制限が脂質代謝及び作業効率に及ぼす影響  
○ 鷲塚愛<sup>1</sup>, 宮城舜<sup>1</sup>, 足利さくら<sup>2</sup>, 田井村明博<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科博士前期課程環境保全設計学専攻  
<sup>2</sup>長崎大学環境科学部環境保全設計コース  
<sup>3</sup>長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科

- P2-12** 無機塩含有炭酸ガス浴がトップアスリートの疲労回復に及ぼす影響  
ー香りの有無による睡眠・疲労回復への影響ー  
○ 鳥居和樹<sup>1</sup>, 児島康司<sup>1</sup>, 荘司博行<sup>1</sup>, 石澤太市<sup>1</sup>, 綱川光男<sup>1</sup>, 松浦倫子<sup>2</sup>,  
安達直美<sup>2</sup>, 有富良二<sup>2</sup>, 荒川雅志<sup>3</sup>, 田中秀樹<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>株式会社バスクリン製品開発部  
<sup>2</sup>株式会社エス アンド エー アソシエーツ  
<sup>3</sup>琉球大学観光産業科学部観光科学研究科  
<sup>4</sup>広島国際大学心理科学部臨床心理学科

### 15:10~15:35 グループ3

座長 : 安陪大治郎 (九州産業大学)

- P2-13** 随意呼吸によって膝伸展筋の皮質脊髄路興奮性は増大する  
○ 白川和希<sup>1</sup>, 柚木孝敬<sup>2</sup>, 松浦亮太<sup>3</sup>, 大塚吉則<sup>2</sup>, 連長順<sup>1</sup>, ログアイエ・アフルンデ<sup>1</sup>,  
矢野徳郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>北海道大学大学院教育学院  
<sup>2</sup>北海道大学大学院教育学研究院人間発達科学分野  
<sup>3</sup>上越教育大学大学院学校教育研究科

- P2-14** 主動筋と拮抗筋の同時収縮がその後の筋活動電位に与える影響  
○ 升佑二郎<sup>1</sup>, 小井詰喜希<sup>1</sup>, 藤野和樹<sup>2</sup>, 村松憲<sup>1</sup>, 山本泰宏<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>健康科学大学理学療法学科  
<sup>2</sup>千葉商科大学商学部

- P2-15** ウェイトトレーニングの補助動作が上肢筋活動に及ぼす影響  
○ 上村孝司<sup>1</sup>, 幕田純<sup>2</sup>, 迎綱治<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京福祉大学社会福祉学部  
<sup>2</sup>グローバルメディカル研究所株式会社

- P2-16** バドミントン競技におけるサービスストロークの筋電図学的分析  
○ 藤野和樹<sup>1</sup>, 上村孝司<sup>2</sup>, 升佑二郎<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>千葉商科大学商経学部  
<sup>2</sup>東京福祉大学社会福祉学部  
<sup>3</sup>健康科学大学健康科学部

- P2-17** 間欠的低酸素暴露下における中枢性呼吸調節の身体トレーニングの影響  
○ 小又亮<sup>1</sup>, 堀田明日香<sup>1</sup>, 中村由紀<sup>2</sup>, 福岡義之<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>同志社大学スポーツ健康科学部  
<sup>2</sup>同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科

休憩 16:10~16:20

座長 : 原田一 (東北工業大学)

**O2-9 無意識下の表情の知覚と同調的表情表出**

- 高橋佳佑<sup>1</sup>, 下村義弘, 勝浦哲夫  
千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻人間生活工学研究室

**O2-10 性格特性が ERP と印象評価に与える影響**

- 本井碧<sup>1,4</sup>, 江頭優佳<sup>1</sup>, 松本吏子<sup>1</sup>, 高倉潤也<sup>1</sup>, 崔多美<sup>1</sup>, 西村貴孝<sup>2</sup>, 綿貫茂喜<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>九州大学大学院統合新領域学府  
<sup>2</sup>長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野  
<sup>3</sup>九州大学大学院芸術工学研究院  
<sup>4</sup>日本学術振興会特別研究員 DC

**O2-11 湿度に対する印象がオノマトペの認知過程に及ぼす影響**

- 江頭優佳<sup>1</sup>, 堀夏子<sup>2</sup>, 松本吏子<sup>1</sup>, 本井碧<sup>1,3</sup>, 崔多美<sup>1</sup>, 高倉潤也<sup>1</sup>, 西村貴孝<sup>4</sup>, 綿貫茂喜<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>九州大学大学院統合新領域学府  
<sup>2</sup>九州大学芸術工学部工業設計学科  
<sup>3</sup>日本学術振興会特別研究員 DC  
<sup>4</sup>長崎大学大学院医歯薬総合研究科  
<sup>5</sup>九州大学芸術工学研究院

**O2-12 種々の心理特性値と起床時のコルチゾール濃度および反応との関係**

- 松本吏子<sup>1</sup>, 西村貴孝<sup>2</sup>, 本井碧<sup>1,3</sup>, 江頭優佳<sup>1</sup>, 崔多美<sup>1</sup>, 綿貫茂喜<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>九州大学統合新領域学府  
<sup>2</sup>長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野  
<sup>3</sup>日本学術振興会特別研究員 DC  
<sup>4</sup>九州大学大学院芸術工学研究院

**O2-13 集団凝集性の違いが共感に関連する脳活動に及ぼす影響**

- 富原浩貴<sup>1</sup>, 赤島健太<sup>2</sup>, 林小百合<sup>2</sup>, 本井碧<sup>1,3</sup>, 樋口重和<sup>4</sup>, キムヨンキュ<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>九州大学大学院統合新領域学府ユーザー感性学専攻  
<sup>2</sup>九州大学芸術工学部工業設計学科  
<sup>3</sup>日本学術振興会特別研究員 DC  
<sup>4</sup>九州大学大学院芸術工学研究院デザイン人間科学部門

閉会 17:20